

独自の技術開発で戦後復興期のコミュニケーションを支えた

登録番号	第 00335 号		
登録年月日	2022(令和4)年9月13日	登録区分	第一種(大量生産品等同様のものが複数あるもの)
名称 (型式等)	4号自動式卓上電話機		
所在地	東京都武蔵野市		
	NTT技術史料館		
所有者 (管理者)	日本電信電話株式会社 情報ネットワーク総合研究所		
製作者(社)	-		
製作年	1949~1962年		
初出年	1949年		
選定理由	<p>日本独自の技術開発による電話機である。1946（昭和21）年より逓信省の電話機技術者により研究開発が開始され、1950（昭和25）年頃から複数の会社で量産された。音響測定手法の確立や、物理特性と人の心理特性との定量的な把握などの科学的基礎検討をもとに、カットアンドトライを排して納得できる物理量を根拠とする理詰めの設計を行い、当時の最先端といえる優秀な伝送特性を実現し、戦後復興期の社会活動を支えた電話機として重要である。</p>		
登録基準	<p>一ーイ（科学技術の発展の重要な側面及び段階を示すもの） 二ーイ（国民生活の発展、新たな生活様式の創出に顕著な役割を果たしたもの）</p>		
公開・非公開	公開		
写真			
その他参考となるべき事項			